

あいびす

01

JANUARY

No.56
2023

(令和5年)



02・03

年頭のあいさつ

会長 小林 英雄
茨城県産業戦略部長 榊原 利至

04・05・06

年頭のあいさつ

各委員会より

07 国内視察研修会

東京・品川

CANON INNOVATION LAB "WITH"

08 フォローアップセミナー

初心の再認識と新たな飛躍へ

09 先進技術セミナー

量子コンピューターの現状と
富士通の取り組み

VRを活用した民俗芸能伝承支援
—無形文化財を「伝える」情報技術—

10・11 総務関連セミナー

コロナ禍における
社員のモチベーションアップ

12

第34回 IBIS会員親睦ゴルフ大会
異動情報



年頭挨拶

「希望」にあふれたIT業界へ

(一社)茨城県情報サービス産業協会 会長 小林 英雄



皆様、新年あけましておめでとうございます。

日頃から協会の運営につきまして格別のご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

ここに、新しい一年を、会員企業の皆様と共に迎えられましたことを心より感謝申し上げます。

私共一般社団法人茨城県情報サービス産業協会（通称：IBIS、会員数：84）は、一昨年、創立25周年を迎えました。目まぐるしい発展を遂げてきた情報産業の分野のスペシャリストとして茨城県の高度情報化の推進を図り、地域社会・経済の発展に寄与することを目的に活動しています。諸先輩方が築かれた歴史や伝統を大切に、また新たに人材育成計画や雇用創生について目標を掲げ、会員企業の皆様と共に「地域に必要とされる協会団体」を目指して参りたいと思います。

さて、日銀の発表した経済・物価情勢の展望によりますと、国内では家計部門、企業部門ともに、感染症や供給制約の影響が緩和するもとで、ペントアップ需要を含めた自律的な需要の増加が継続すると予想されるそうです。景気の回復が続くと考えられています。海外経済が、ウクライナ情勢による減速圧力を受けつつも総じてみれば回復を続けるもとで、輸出や生産は、供給制約の影響の緩和が見込まれる自動車関連やグローバル需要が拡大しておりデジタル関連を中心に、増加するとみられています。

前途を踏まえますと、今後もITエンジニアの活躍に多くの需要が見込まれております。更に他の業界でも、ITエンジニアの採用が増えてきており、私たちの業界では、益々、人材不足となることが予測されます。地域柄、大手企業様の業務を受託

させて頂くチャンスが豊富にありますので、スキルのバラつきなどで業務量に制限がかかるのは、情報サービス産業協会として見逃すわけにはいきません。

県職員の皆様にご支援を頂き、各社が利用できる共通の教育機関（県立IT短大）で、確実に人材を育成することで更なる信頼を獲得し、地域産業の支えとなるよう盛り上げていきたいと計画しております。また、資格を必須としない業界として、就職時の基準が曖昧な状態も、経験者採用の離職に繋がりがやすすいと感じていますので、経験者の教育についても具体的にサポートできるよう準備して参ります。

産学連携という切り口では、引き続き、茨城大学様、茨城県立産業技術短期大学様、学校法人八文字学園水戸電子専門学校様と連携を深め、新卒社会人の人材確保につなげていければと思います。

最後に、時代の変化に的確に対応し、これからの茨城を切り拓こうと「茨城のあるべき姿」を見据えた茨城県の政策『新しい茨城』への賛同と協力を地元の協会団体として力強く行なっていきたいと考えております。「新たな発想で果敢に挑戦する」という知事のメッセージは、あらゆる分野で通用する目標だと捉えております。県の打ち出したアイデアを参考に、当協会の会員の皆様と共に未来を担う「人財（じんざい）」を育てていけるよう、子どもたちも憧れるような「希望」にあふれたIT業界をこの茨城で実現していけますよう、今後ともご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



年頭挨拶

新年のごあいさつ

茨城県産業戦略部長 **榊原 利至**

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人茨城県情報サービス産業協会の皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素より情報サービス産業界の技術力強化や人材育成等に積極的に取り組まれ、本県産業の情報化の推進及び競争力強化に向けてご尽力されておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

振り返りますと、昨年は、ロシアによるウクライナ侵略、世界的な物価高騰、歴史的な円安等、想定しえなかった出来事が相次ぎ、先の見えない「非連続の時代」の只中にあることを感じさせられました。そして、我々を長く苦しめている新型コロナウイルス感染症は、感染対策の実施やウイルスの特性の変化などにより、共生し、社会経済活動の正常化を目指す段階へと向かう転換期を迎えております。

こうした中、コロナ禍で活用が進んだIT、IoT、AIやロボット等のデジタル技術は、経済活動の再開により、深刻化する人手不足など様々な課題の解決や、今後の新たなビジネス展開・成長に欠かせないものとなっております。

県では、本県経済が今後も飛躍していくため、一層のデジタル化の進展とそれを担うデジタル人材の育成が大変重要であると考え、県立産業技術短期大学校（県立IT短大）においては、令和元年度に定員を80名から120名に増員し、令和3年度に

は情報セキュリティ等の専門性の高いコースを設定するなど、企業ニーズに即した人材育成に取り組んでおります。その結果、平成17年度の開校以来、就職率100%を維持し、これまでに就職した551名のうち約96%に当たる529名が県内企業で活躍しております。

また、企業におけるデジタル人材の育成も重要であることから、休日や夜間にクラウドサービスやAI活用等の専門技術を集中的に習得できる短期間の講座を令和4年度より設置したほか、高度なデータ分析技術を用いてビジネスの課題を解決できるデータサイエンティストを育成しており、今後も、現場のニーズに即した人材育成に取り組んでまいります。

県といたしましては、県民の皆さまをはじめ、貴協会など関係機関と協力しながら、「県民幸福度No.1」の実現に挑戦してまいりますので、貴協会におかれましても、県内の情報サービス産業の牽引役として、より一層ご活躍いただきますとともに、県勢の発展のため、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



各委員会より

● 事業推進委員会

委員長 松本 英俊



新年明けましておめでとうございます。

日頃より会員の皆様には、事業推進委員会の活動にご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、ロシアによるウクライナ軍事侵攻や韓国ソウルでの雑踏事故、国内においては安倍首相の銃撃事件など、不穏な出来事の多い年となりました。

ですが、ここ数年新型コロナ対策により停滞していた各国経済も、規制緩和により緩やかに復調の兆しが見えてきており、また日本国内においても3年ぶりに行動制限のないGWを迎えるなど、ウィズコロナに向かい新たな一歩を動き出した年となりました。

世界的なエネルギー問題や、日本国内では円安による物価高など様々な問題がありますが、パンデミックからアフターコロナと新たな段階に向かったように、ウクライナ危機が一日も早く平和的解決に向かい、世界経済が発展していくことを願います。

事業推進委員会活動をご報告いたします。

【第3回得意技・先進技術交流会の開催について】

新型コロナウイルスの影響により開催見送りが続いていた「得意技・先進技術交流会」ですが、2023年2月1日（水）に、アダストリアみとアリーナの2F会議室において、水戸市と共催という形で再び開催することが決まりました。19社の会員企業様にご参加頂く予定となっています。

当日は一般企業を始め、地元の大学、高校、専門学校の学生も来場しますので、自社製品や独自ソリューションを学生や企業にアピールできる絶好の機会となっております。

また多数の会員企業様が集まる貴重な機会ですので、出展される企業様同士でも交流を深められる場になればと思います。

世間では少しずつ日常を取り戻し始めており、このようなイベントも今回開催できる運びとなりました。今後も引き続き皆様からのご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

● 技術研究委員会

委員長 清水 哲雄



新年あけましておめでとうございます。日頃より会員の皆様には技術研究委員会の活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちの生活で「もっと便利に、早く、安く、楽しく、安全に」にするために、ICTの利用技術は常に新しい技術やトレンドによって進化していきます。IBIS会員企業の皆様におかれても、新しい技術の習得とお客様へのご提案ご提供が終わることなく続いております。

技術研究委員会の活動に於いても、これらの先進技術やトレンド、課題を意識し、各種研修事業等の実施に取り組んでまいります。

まずは新年を迎えるにあたり、昨年の技術研究委員会の活動を以下の通りご報告申し上げます。

1. 先進技術セミナー

11月17日（木）、オンライン開催で25接続50名を超える参加になりました。

テーマは、「最先端技術」と「VR」です。

第一部では、富士通株式会社 土肥義康様をお招きし、「量子コンピューターの現状と富士通の取り組み」をテーマにご講演頂きました。

第二部では、茨城大学 助教 柴田傑先生をお招きし、「VRを活用した民族芸能伝承支援－無形文化財を「伝える」情報技術－」をテーマにご講演頂きました。

2. 国内視察研修会

10月19日（水）、CANON INNOVATION LAB "WITH"を視察いたしました。

品川のDXショールームにて参加23名、サテライトオフィスや在宅との連携ソリューションと、映像を活用した業種別・業務別ソリューションを視察しました。

3. 海外視察研修会

新型コロナの影響により海外渡航自粛を踏まえ、中止といたしました。

以上の通りご報告を申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

● 総務広報委員会

委員長 小野瀬直人



新年明けましておめでとうございます。

日頃より皆様には、総務広報委員会活動にご協力賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの脅威に翻弄されながら、各種活動を行う運びになりました。感染増加時期には、止む無く中止や縮小といった活動もありました。

今年もオンラインや人数の分散といった工夫をし、活動を展開して参ります。

新年を迎えるにあたり、昨年の総務広報委員会の活動状況と今後の予定を下記の通りご報告いたします。

1. 会報発行

会報55号発行（令和4年8月）、新年号56号発行（令和5年1月）

2. 福利厚生事業 ボウリング大会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、止む無く中止とさせていただきます。

3. フォローアップセミナー

2022年度は、多くの参加希望者を対応できるよう、また密にならないよう10月17日から19日の3日間開催としました。参加者は70名を超え、大盛況のうちに終わりました。

4. 総務広報委員会セミナー

9月16日にオンライン配信のみで行いました。演題は「コロナ禍における社員のモチベーションアップ」（株式会社 打つ手は無限 代表取締役社長 鈴木 稔氏）参加者は15名を超え、大盛況のうちに終わりました。

5. IBIS 合同企業説明会

昨年と引き続き、学校単位での開催方法とし、4つの学校と連携しております。開催時期は新型コロナウイルスの関係で未定となっております。

6. IBIS 新人合同研修

2023年4月に実施計画しております。今回も新型コロナウイルスを考慮し、日帰りの研修とさせていただきます。

以上の通りご報告申し上げますと共に、引き続きご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

● 会員増強委員会

委員長 大塚 聡



明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、日頃より会員増強委員会の活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和され、社会経済活動は緩やかに正常化が進んできました。これからのウィズコロナ、ポストコロナにおける新しい生活様式を支えていくためには、デジタル技術の活用はもはや不可欠となっています。情報サービス分野でITやデジタル技術に関わる私たち会員企業の役割はますます大きなものとなっています。

会員増強委員会では、「会員企業相互の交流を深めIT技術革新により地域社会に貢献する」の協会スローガンのもと、新規入会者の募集をすすめ企業訪問を積極的に行って、会員増強による協会の組織力強化に努めています。また、「IBIS会員親睦ゴルフ大会」を毎年2回開催しています。昨年11月には、初参加者4名を含む28名が参加して会員相互の交流を深めました。次回も会員以外の方にも声がけて、3月開催を予定しておりますので、お誘いあわせのうえ多数のご参加をお願いいたします。

今後も会員皆様にとって魅力ある事業展開と委員会活動に取り組んでまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

末筆ながら、2023年が会員企業の皆様にとって幸せな年でありますようお祈り申し上げます。

● 会計委員会

委員長 古橋賢一郎



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には日頃よりご支援・ご協力を賜りまして誠に有難うございます。

昨年も長引くコロナ禍の中ではありましたが、国内は開催制限がありながらも大型イベントが再開され、海外ではサッカーワールドカップでの熱狂ぶりに見て取れるように明るい方向に向かっていると感じられました。とは言えコロナ収束の長期化は予想される状況では御座いますが、IBIS各種事業では工夫をしながら事業を推進して参りたいと考えておりますので、本年も一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新年を迎えるにあたり、昨年の会計委員会の活動状

況と今後の予定を下記の通りご報告いたします。

会計委員会として昨年12月までの活動状況は次の通りです。

(1) 協会収支の検査及び指導

事務局と共に2回（7月、10月）の財務状況の調査研究（来期収支予算含む）を実施

(2) 委員会別事業予算

委員会別の事業予算書のまとめ（2月）

(3) 四半期予算実績対比

四半期毎に委員会別に事業費の予算実績対比を実施（7月、10月）

今後は決算までに2回（1月、3月）の財務調査研究と決算の準備、並びに来年度の委員会別事業予算書を取り纏め、各委員長及び事務局と連携を深めながらIBISの更なる発展に寄与していきたいと思っております。

以上、新年のご挨拶とさせていただきます。



水戸駅南口より徒歩3分
 婚礼・宴会・宿泊・会議等
 お客様のニーズにお応えします

招福の会 第二回

令和5年 3/19 日曜日

桂雀々・三遊亭兼好ほか 招福懐石舟当付き

会場 2F「飛天・鳳凰」の間 受付・食事 12:00～ 開場 13:00～ 開口一番 13:30～

大人S席 9,500 円(税込) 大人A席 8,500 円(税込)

ホテルレイクビュー水戸

HOTEL LAKE VIEW MITO

〒310-0015 茨城県水戸市宮町 1-6-1
 ●JR 水戸駅（南口）下車徒歩 3分 ●駐車場 240 台
 お問い合わせ・ご予約 029-224-2727



令和4年度

国内視察研修会

開催日

令和4年10月19日(水)

視察先

CANON INNOVATION LAB "WITH"

参加者

23名

今年度の国内視察研修会は、東京品川にあるキヤノンマーケティングジャパンの新しいショールーム『CANON INNOVATION LAB "WITH"』を視察・見学しました。

一般的なオフィスをイメージした空間で、サテライトオフィスや在宅との連携ソリューションを体感したり、商品のバーコードを読み取ることなくカメラ映像を駆使して決済までできる未来型無人店舗も実感を持って見学することができました。

また、プライバシーに配慮したネットワークカメラ映像で様々な顧客サービスや生産性の向上につながる取り組みも見ることができました。

あらためてDX(デジタルトランスフォーメーション)には先進的な映像テクノロジーが必要不可欠で

あると認識させられる視察研修会となりました。

次年度以降も最新技術や最新トレンドなど、会員の皆様のお役に立てる企画をまいります。



名鉄観光 その社員旅行！弊社におまかせください！！

《社員旅行復活の兆し》 社員旅行を含む社内イベントについて…58%が好印象(女性67%、30代73%)

《社員旅行成功の秘訣》

目的(テーマ)を決める

- ① コミュニケーション
- ② 一体感の醸成
- ③ リフレッシュ

成功させるヒント

- ① アンケートを取る
- ② 自由時間を作る
- ③ 仲の良い人同士の部屋割

福利厚生費(会社経費)にするコツ

- ① 4泊5日以内
- ② 50%以上の参加
- ③ 1人/10万円以内

《IBIS会員企業様の声》

別の部署や普段あまり話さない社員とのコミュニケーションを通じて、お互いを理解することができ、仕事がやり易くなった。ピングやじゃんけん大会などのイベントも楽しい。

※名鉄観光では幹事様マニュアルやアンケートの雛形、宴会進行表などを用意しています。

2023年

のお勧め旅行先

- ① 金 沢…上野からたったの2時間半
日本海の幸と歴史、文化の街金沢
- ② 名古屋…話題のジブリパークに名古屋めし
ひつまぶし、味噌カツ、煮込みうどん等々
- ③ 関 西…茨城空港からひとつ飛び 大人気のUSJ
マリオにハリボタにミニオンに…

貸切バスのコロナ対策

- ① 5分で空気が入れ替わる換気システム
- ② 乗車時のアルコール消毒
- ③ 定期的な車内消毒



お問合せ

【IBIS 海外視察研修 取扱旅行会社】
名鉄観光サービス(株)水戸支店

電話：029-221-4528 担当：結城武文
メール：takefumi.yuki@mwt.co.jp



第11回

「フォローアップセミナー」開催

会場	J Aグループ茨城教育センター
開催日	令和4年 10月17日(月)・18日(火)・19日(水)
講師	カスヤ・マネジメント研究室 春谷 昇 講師
参加者	13社 73名



街路樹の葉も日を追って色づき始めた頃、今年度も元気溢れる春谷先生を講師に迎え第11回フォローアップセミナーが開催されました。新型コロナウイルスの影響が懸念されましたが、検温やアルコール消毒・抗原検査など感染防止に配慮し、受講生が安心して参加できる体制の中で無事にセミナーを終えることが出来ました。本セミナーは「初心の再認識と新たな飛躍へ」をテーマに若手社員が日頃の日常活動を振り返ることの重要性を体感しながら、今後のあり方を考えることを目的に開催しています。入社後半年が経過し、新入社員にとっては仕事や職場環境に慣れてくる一方で次第に元気の良さが影を潜めて緊張感が薄れる時期とも重なります。今回のセミナーは初心を思い返し、気持ちを引き締めて新た



な目標設定をするのに良いタイミングだったのではないのでしょうか。

研修は適度な緊張感の中で元気の挨拶と共にスタートし、受講生は講師の言葉に集中して耳を傾けていました。研修内容は座学の他に、グループディスカッション（質疑応答）やスピーチ・発声練習など一人一人が参加する形のカリキュラムとなっていて、他社の参加者との交流も深めながら前向きに真剣な面持ちで研修に向き合っている受講生がとても印象的でした。

研修の終盤にはコミュニケーションの重要性などを学ぶビジネスゲームが行われ、課題のクリアがなかなか達成出来ずに苦労しているグループが多かったのですが、現時点での課題や基本行動の大切さを再確認する良い機会になったかと思います。

受講生の皆様には今回のセミナーで学んだ内容・気づきを業務に役立てて今後の糧にいただき、大きく成長する事を期待しています！





令和4年度

先進技術セミナー

第一部 量子コンピューターの現状と富士通の取り組み

富士通株式会社 プロジェクトディレクター 土肥 義康 様

第二部 VRを活用した民俗芸能伝承支援 – 無形文化財を「伝える」情報技術 –

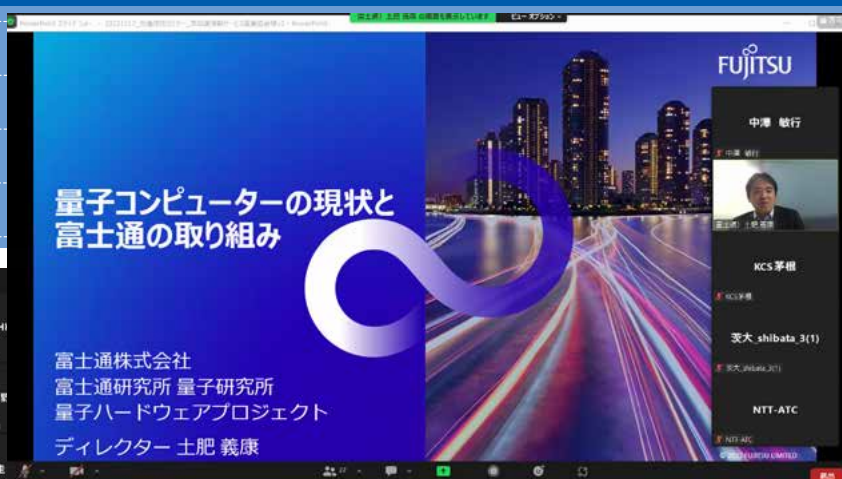
茨城大学 助教 柴田 傑 様

開催日 令和4年11月17日(木)

会場 オンライン開催

接続数 25接続

参加者 50人



本年度の先進技術セミナーは二部構成とし、第一部では、富士通株式会社 プロジェクトディレクター 土肥 義康様をお招きし、「量子コンピューターの現状と富士通の取り組み」をテーマに、最先端技術をご講演頂きました。量子コンピューターは、50量子ビット演算が実行することを示し、人類科学史の大きな一歩を示したが、未だ朝日が昇った段階でありこれからの最先端技術であることをご講演頂きました。今後の量子コンピューターの活用分野として、①量子科学計算（創薬）②機械学習（人口知能）③素因数分解（暗号鍵解読）④組合せ問題（配送計画）などの分野で活用できる見込み等もご講演頂き参加者の皆様も熱心に拝聴されておりました。

第二部では、茨城大学 助教 柴田 傑様をお招きし、「VRを活用した民俗芸能伝承支援 – 無形文化財を「伝える」情報技術 –」をテーマとしてモーションキャプチャを用いた盆踊り等無形文化財の伝承支援システムについてご講演頂きました。民俗芸能にVRを用いての模倣による伝承、熟練者の特徴（本質）の解析、民俗芸能以外への応用等を「日立風流物」の文化伝承支援の具体的な事例をご講演頂き身近なところへのVRの活用のアイデアが参加者の皆様のシ



ステム開発、新ビジネスの参考になるご講演でした。

本年度は、昨年同様のオンラインでの開催となりましたが、茨城大学の学生の参加もありコロナ禍において、接続数 25接続 参加者延べ 50人を超える参加者となりました。

次年度以降も時期に即したテーマを選択し継続開催する予定です。ご期待ください。

2022年度 総務関連セミナー

「コロナ禍における社員のモチベーションアップ」

講師 株式会社 打つ手は無限 代表取締役社長 鈴木 稔氏

開催日 2022年9月16日(金) 14:30~17:00

開催方法 Zoomによるオンラインセミナー

参加者 18名

今年度の総務関連セミナーは、コロナ禍により在宅勤務やテレワーク等の柔軟な働き方が普及する一方で会社生活における様々な制約など複合的な要因により、社員の業務に対するモチベーションの低下が顕著に見受けられ、社員のモチベーションを上げるためにはどうするかを学んでもらうことを目的として株式会社打つ手は無限の代表取締役社長である鈴木稔氏を講師として迎えセミナーを開催しました。

開催形式は昨年と同様にZoomによるオンライン形式での開催となりましたが、参加者をいくつかのグループに分けてグループディスカッションを行うなど、一方的に講義を聴くスタイルではなく、参加型の内容で進められました。参加者は鈴木講師の講話に真剣に耳を傾け、グループディスカッションにおいては積極的に意見交換を行い、密度の濃い有意義な内容となりました。2時間半の開催時間もあったという間に過ぎ、盛況のうちにセミナーは終了しました。

会員の皆さまにおきましては、今回のセミナー内容を参考に社員のモチベーションアップに役立てていただければ幸いです。

2022年度 総務関連セミナー

コロナ禍における社員のモチベーションアップ



NPO法人日本アドラー心理学カウンセリング協会 理事長
 有限会社 アイエルワイ・株式会社 打つ手は無限 代表取締役
 国際空手道連盟 極真会館 世界総極真小山道場 責任者 鈴木 稔

自己紹介をお願いします(1人1分)

- ①名前
- ②住所
- ③会社名と所属
- ④趣味
- ⑤参加の目的



高度スキルアップセミナー2023

2022年度セミナー実績	概 要
セキュアプログラミング	ソフトウェアテストを中心に、品質の高いソフトウェア開発技法について学びます。
AIのためのPython	プログラミング言語Pythonを使って、機械学習とAIの基礎やライブラリの使い方を学びます。
Webシステム開発	プログラミング言語C#を使って、Webアプリケーションの作成方法について学びます。
DB連携プログラミング	プログラミング言語C#とデータベースを連携した、システム開発の手法について学びます。
ラズパイを使った画像処理	画像処理ライブラリOpenCVをラズベリーパイで実装を通じ、IoTの活用について理解を深めます。

受講料 10,000円 最少実施人数 3名以上 時間 12時間



県立IT短大では、主にITに関する高度な知識・技術を習得したい方やレベルアップをめざしたい方を対象に**オーダーメイド**によるセミナーを開催します。**セミナー内容、日程、開催場所等**はご相談に応じます。まずは、お電話ください。



茨城県立 IT 短大
 (茨城県立産業技術短期大学校)

〒311-1131 茨城県水戸市下大野町 6342

☎ 029-269-5500 Fax: 029-269-5582

URL: <http://www.ibaraki-it.ac.jp/>

E-mail: sangitandai1@pref.ibaraki.lg.jp



IT短大HP

総務広報委員会



「Motivation」とは？

「やる気」「意欲」「動機」などの意味で用いられる表現である。主に行動を起こす契機となる意欲や動機というニュアンスで用いられる。

アドラー心理学では「やる気」を引き出す方法として「**止し**」という技法がある。勇気の反対は「**止し**」である。勇気がなくなった人は「自分の知っていること」で満足し、勇気がなくなったことには行動を起こさず、「知らないこと、できないこと、恐ろしいこと、辛いこと」には行動をしない。そして、行動しない意欲を巧みにし、ごまかしたりすることもある。勇気がなくなると、失敗を恐れ行動をしないために「成長」が止まってしまう。このように勇気も成長も実行も勇気が鍵である。

進んでほしいこと「**止し**」である。心臓が動く、心が動く、体が動く、そして脳が動く。逆に止まったり停滞すれば成長はなくなり、退化が始まり、死んでしまう。

環境や状況のせいにする。今に「自分」にできることをやろう。動ければ起こる。それは定数を受け入れて動いていくのだ。あなたの人生や夢。成長を他人や環境や状況のせいにはしない。それらを受け入れて自分次第で大きく成長するチャンスがやってくるのだ！

外部からの影響より内部の結束

共同団体(仲間)と協力関係を結び、その共同性に貢献できるかが問われます。しかし、この共同性や協力関係を築くことができない人がいます。

①【私は自分と主張する人です。】
②【彼(彼女)は特別な人(私は彼(彼女)と違う)です。】
③【彼(彼女)は私と違う人(私は彼(彼女)と違う)です。】
④【自己中心(私)が私に何を求めているか、私を大切にすべきだ。等の人だ。】
⑤【どうやら仲間が私を愛していない。】
⑥【「私」がない、この二つが問題なのです。】

相手のコミュニケーションが「協力・貢献」でない、相手に心配をかけた、邪魔をしたり邪魔されてしまう行動に出す。

⑦【「これは私にとってどういふ事だろうか？私に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】
⑧【「これは皆にとってどういふ事だろうか？皆に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】
⑨【「これは私にとってどういふ事だろうか？私に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】
⑩【「これは皆にとってどういふ事だろうか？皆に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】
⑪【「これは私にとってどういふ事だろうか？私に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】
⑫【「これは皆にとってどういふ事だろうか？皆に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】

相手に協力するトレーニング

共同性(仲間)と協力関係を結び、その共同性に貢献できるかが問われます。しかし、この共同性や協力関係を築くことができない人がいます。

①【私は自分と主張する人です。】
②【彼(彼女)は特別な人(私は彼(彼女)と違う)です。】
③【彼(彼女)は私と違う人(私は彼(彼女)と違う)です。】
④【自己中心(私)が私に何を求めているか、私を大切にすべきだ。等の人だ。】
⑤【どうやら仲間が私を愛していない。】
⑥【「私」がない、この二つが問題なのです。】

相手のコミュニケーションが「協力・貢献」でない、相手に心配をかけた、邪魔をしたり邪魔されてしまう行動に出す。

⑦【「これは私にとってどういふ事だろうか？私に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】
⑧【「これは皆にとってどういふ事だろうか？皆に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】
⑨【「これは私にとってどういふ事だろうか？私に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】
⑩【「これは皆にとってどういふ事だろうか？皆に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】
⑪【「これは私にとってどういふ事だろうか？私に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】
⑫【「これは皆にとってどういふ事だろうか？皆に幸せになる為に私は何をすれば良いのだろうか？」】

「させたい」と「したい」

「～したい」 「～させたい」

社員の目線 上司の目線

部下のモチベーションを上げる上司の行動

行動	割合
部下のモチベーションを上げるために、具体的な目標を設定する	32%
部下のモチベーションを上げるために、具体的な目標を設定する	28%
部下のモチベーションを上げるために、具体的な目標を設定する	18%
部下のモチベーションを上げるために、具体的な目標を設定する	12%
部下のモチベーションを上げるために、具体的な目標を設定する	10%
部下のモチベーションを上げるために、具体的な目標を設定する	8%
部下のモチベーションを上げるために、具体的な目標を設定する	5%
部下のモチベーションを上げるために、具体的な目標を設定する	3%
部下のモチベーションを上げるために、具体的な目標を設定する	2%
部下のモチベーションを上げるために、具体的な目標を設定する	1%

勇気挫きを止める

【アドラーの言葉】
相手に向かってダメだのバカだの言い続けていると、短い間に相手は大人のことを出来なくなるといふ人、人の様な人達には勇気を失うことになりがちです。

【アドラーの言葉】
相手に向かってダメだのバカだの言い続けていると、短い間に相手は大人のことを出来なくなるといふ人、人の様な人達には勇気を失うことになりがちです。

勇気挫きから脱出しよう

【勇気挫きの 名詞】
「私はダメ人間だ」「自信が無い」「どうせ失敗するに違いない」といふ人、人の様な人達には勇気を失うことになりがちです。

【アドラーの言葉】
相手に向かってダメだのバカだの言い続けていると、短い間に相手は大人のことを出来なくなるといふ人、人の様な人達には勇気を失うことになりがちです。

上司のモチベーションを下げる部下の行動

行動	割合
上司のモチベーションを下げるために、具体的な目標を設定する	15%
上司のモチベーションを下げるために、具体的な目標を設定する	12%
上司のモチベーションを下げるために、具体的な目標を設定する	7%
上司のモチベーションを下げるために、具体的な目標を設定する	5%
上司のモチベーションを下げるために、具体的な目標を設定する	3%
上司のモチベーションを下げるために、具体的な目標を設定する	2%
上司のモチベーションを下げるために、具体的な目標を設定する	1%
上司のモチベーションを下げるために、具体的な目標を設定する	1%
上司のモチベーションを下げるために、具体的な目標を設定する	1%
上司のモチベーションを下げるために、具体的な目標を設定する	1%

自分の人生を決めるのは自分である！

劣等性、劣等感、家庭環境、勇気挫き、建設的対応、非建設的対応

勇気挫きから脱出しよう②

【アドラーの言葉】
相手に向かってダメだのバカだの言い続けていると、短い間に相手は大人のことを出来なくなるといふ人、人の様な人達には勇気を失うことになりがちです。

勇気づけを始めよう！

【アドラーの言葉】
相手に向かってダメだのバカだの言い続けていると、短い間に相手は大人のことを出来なくなるといふ人、人の様な人達には勇気を失うことになりがちです。

疾病別の患者数

精神疾患、糖尿病、がん、慢性心臓病

人を信頼できるようになるには？

「私の思いを分かってくれない」「私は期待を裏切られて」と思っていると、人を信頼しにくくなります。

失敗した時こそ勇気づけしよう！

①【失敗した場合は...】
②【失敗を克服して...】
③【失敗を克服して...】

★Amazon・楽天ブックス・hontoなどで購入できます！

「やる気不調は解決できる!」
「子育てに正解はある!」

技術を身に付けた 人材を採用したい！

求職中の方を対象に、半年間で情報分野の技能を身につける職業訓練を実施しています。採用のご予定がありましたら、ぜひ、ポリテクセンター茨城の受講者・修了者をご検討ください。

生産情報プログラミング科

ICTエンジニア科 (企業実習付)

スマート情報システム科

訓練受講者・修了者の自己PR【求職者情報】はポリテクセンター茨城ホームページに随時掲載しています

技術を短期で身につけたい！

主に在職中の方を対象に、2～4日間で専門的な技能を身につける【能力開発セミナー】を実施しています。

コースNo	コース名	日程(令和5年)	受講料
E1391	組込み技術者のためのプログラミング(C言語編) ※会場：ひたちなかテクノセンター	2/1(水)、2(木)	11,500円
E1211	IoTセンサシステム構築技術(ESP32編) ※会場：ポリテクセンター茨城	3/11(土)、12(日)	14,000円
E1332	オープンソースプラットフォーム活用技術(Android アプリ開発 Java編) ※会場：ポリテクセンター茨城	3/14(水)、15(木)	9,000円

【時間】9:15～16:00

日程が合わない 内容を変えたい 社内でやりたい → オーダーメイドセミナーで承ります。まずはお電話を

厚生労働省所管 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構茨城支部
ポリテクセンター茨城
 常総市水海道高野町 591 (常総警察署隣) 平日 8:45～17:00
 TEL 0297-22-8845
 ポリテク茨城 検索



第 34 回

IBIS会員親睦ゴルフ大会

第34回IBIS会員親睦ゴルフ大会が11月25日(金)にスターツ笠間ゴルフ倶楽部にて28名の参加者により盛大に行われました。

一年ぶりの開催となる大会当日は、秋空が高く澄み渡り11月とは思えない穏やかな絶好のコンディションの中で初参加となる4名の会員を含め、参加者全員が気持ち良くプレーすることができました。

この度の大会で皆さんが打ち込んだ一球がポストコロナに向けた未来へ繋がる一球になれば幸甚です。

開催日 2022年11月25日(金)

場所 スターツ笠間ゴルフ倶楽部

前回到引き続き、万全な感染防止策を講じラウンド終了後のパーティーは開催せずに順位表および景品を配布し、速やかに散会する事と致しました。状況を配慮した計画ならびに進行について、多くの皆様にご賛同いただき、盛況のうちにゴルフ大会は終了いたしました。

毎年新たな会員が加入されますが、このゴルフ大会を通じて会員同士の親睦を深め会員増強を図り、IBISの益々の発展に繋げていきたいと思ひます。



異動情報

2023年1月1日現在

Change information

● 入会 正会員

● 株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア水戸事業所 所長 蛭田 和行 2023年 1月 1日

● 協会代表者変更

● アイ・イー・シー株式会社 代表取締役会長 宮田 秀昇 2022年 9月 15日

● 社名変更

● 株式会社F I T's 北関東支社 (旧会社名:フィット産業(株) 北関東支店) 2022年 10月 1日

編集後記

昨年は依然として続く新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアのウクライナへの軍事侵攻、世界的なインフレ、異常気象による自然災害の多発など、非常時が常態化した変移を目の当たりにした1年でした。

今年の干支は「卯」で十二土の4番目である「うさぎ」を意味します。高く跳ぶ姿から「飛躍」「向上」が連想されます。会員の皆様と共に。高く飛躍し、大きく向上する年にしていきたいと思います。